

講座 人の輪でつなぐ地域といのち
北秋田市男女共同参画社会づくり講座

北秋田市男女共同参画社会づくり講座が、10月30日に森吉公民館で開かれ、市民約50人が男女共同参画の視点から防災について理解を深めました。

この講座は「人の輪でつなぐ地域といのち」をテーマに、地域に暮らす多様な人々の「違い」に配慮した防災について考えようと開かれたもので、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとの小山内世喜子代表理事が講演を行いました。

講演後のグループ討議では、参加者はこれから地域で取り組む防災について積極的に話し合いました。



表彰 作文と標語で人権への理解を深める
「子ども人権デーの集い」 in鷹南中

「子ども人権デーの集い」 in鷹南中が、11月5日に鷹巣南中学校体育館で開催され、小・中学生や保護者など約250人が参加し、人権の標語や作文の表彰と発表が行われました。

小学生人権標語コンテストでは12点、中学生人権作文コンテストでは9点が優秀賞に選ばれ、受賞者に表彰状が贈られました。続いて、人権標語の受賞者が一人ずつ自分の標語を読み上げたほか、中学生人権作文で優秀賞を受賞した作品2点の発表が行われ、参加者は人権への理解を深めました。



受賞報告 地域防災力の向上に貢献
秋田県優良自主防災組織表彰受賞報告

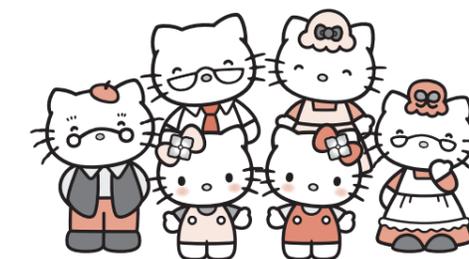
地域防災力の向上に取り組んでいる舟見町地域安全の会（成田光弘会長）が、11月16日に市役所を訪れ、津谷市長に秋田県優良自主防災組織表彰の受賞を報告しました。

この度の受賞は、防災訓練や救命講習、子ども会による「火の用心」巡回のほか、防災マップや防災広報誌を作成するなど独自の取り組みを展開し、地域防災力の向上に貢献したことが認められたものです。

津谷市長は「これからも地域のつながりを大事に積極的に活動してほしい」などと受賞をたたえました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



寄贈 樺細工棚を長岐邸に展示
柘植六郎氏遺品の樺細工棚の寄贈

第5代鷹巣農林高等学校校長である柘植六郎氏が所有していた樺細工棚が、10月25日に市役所で河田弘美さんから市に寄贈されました。

寄贈された樺細工棚は、柘植氏の孫にあたる上野誠さんから、旧鷹巣農林高校同窓会の河田弘美事務局長に今年の春に届けられたもので、今後は長岐邸で保管・展示されることになりました。

寄贈にあたり津谷市長は「貴重なものを寄贈していただき感謝する。多くの市民の皆さんに見てもらえるように、大事に保管する」などと述べました。



墓前演奏 名曲を後世に伝える
成田為三先生墓前演奏

北秋田市出身の作曲家・成田為三先生墓前演奏が、10月29日に米内沢の龍淵寺で行われ、地元の合唱団や市民など約50人が参加し、時代を超えて歌い継がれる名曲を残した郷土の作曲家をしのびました。

はじめに、遺影が飾られた墓前で龍淵寺の奥山亮修住職が読経し、参列した各団体の代表者が焼香を行いました。そのあと、浜辺の歌音楽館少女合唱団、コール・もりよし、る・それいゆが合唱を披露。

最後に参加者全員で「浜辺の歌」を高らかに合唱し、成田為三先生の功績をたたえました。



講演 異常気象による災害への対応を学ぶ
火災予防運動中の防災講演会

防災講演会が、11月8日に市民ふれあいプラザで行われ、秋田地方気象台防災気象官の和田幸一郎さんが講演し、市職員や関係機関、市民など約160人が異常気象による災害への対応について学びました。

講演会では、大雨が降る要因や竜巻が発生する仕組みを図や映像を用いて解説した後「防災は人と人とのつながりが不可欠で、地域住民や関係機関との危機感の共有・連携が重要」などと話しました。

参加者は、メモを取りながら熱心に聞き入り、防災意識を高めていました。



受賞報告 老人クラブの活動が評価される
秋田県老人クラブ大会における受賞報告

秋田県老人クラブ大会において秋田県知事賞等を受賞した2個人7団体と関係者の計11人が、11月13日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

同大会における表彰は、老人クラブの組織づくりや育成指導に特に功績のあった方、社会奉仕、地域との交流等の活動を総合的に継続している老人クラブを対象としており、この度受賞した個人・団体の活動が評価されたものです。

報告を受けた津谷市長は「皆さんのこれまでの活動が認められ誇らしく思う」などとたたえました。

